活動報告

たんぽぽクラブ

児童館での子育て支援活動

女性協議会会長　岩間　貞子

子育てをする親が、育児の悩みや不安などを抱え、孤立せずに安心して子育てができるように、地域の中で支援していくことが必要です。

前回の「みなと」に、女性協議会の新規事業を御紹介申し上げましたが、名称を「たんぽぽクラブ」と名づけ、只今、三ヶ所の児童館で子育て支援活動に取り組んでおります。

それぞれの児童館での強力なる御支援のもと、若いお母さんたちの我が子の成長過程での疑問、悩み、相談を、私達、民生・児童委員が一緒になって考えてあげられる場が出来ました。ここでの出会いによって、育児の楽しさ、難しさ、大切さを十分に知って自覚していただければ、この活動も「始めてよかった」という、自信を持って今後すすめていけるのではないでしょうか。

子供を遊ばせ乍ら、些細な悩み事でも聞いてあげる事によって、また、ちょっとしたアドバイスをすることで、友達同士では解決できないような事も、違った解決策がみつかると思います。家に引き篭もりがちな母親が、子供と一緒に仲間となれる様な努力も必要です。また、子供を保育園に預けて働く母親の相談も多々あると存じます。このような方々の為にも、私共のこの活動を広く地域に浸透させ、支援の火を灯し続け、すべての母親が安心して子育てに専念できるような社会にと、大きな希望を抱いて居ります。

芝児童館

三田地区　松浦　廣子

芝児童館に「たんぽぽクラブ」を開設するにあたり、事前には案内したものの、何しろ初めての事だったので、実際、当日に何人の人が来てくださるか心配でしたが、一歳から二歳くらいまでのお子様を連れた、十四名のお母さんが参加してくださいました。

委員さんたちが子供たちのお世話をしている間に、お母さん同士でテーブルに集まり、お茶を飲みながら歓談しました。参加されたお母さんから、こんな相談が持ち上がりました。「子供が異常に風を怖がっていて、風が吹くと家から外出できない状況なんです。このままだと幼稚園に入っても通えないのではないか心配です」この話題をきっかけに「一歳四ヶ月の息子はまだ言葉がよく話せません」など、次々と話題が出てきました。

私たちも自分なりの子育ての経験をお話したり、「子育て相談室」や港区の子育て支援の情報を提供したりと、何でも気軽に相談できる地域のおばちゃんとして、子育てネットワークづくりのお手伝いが出来たのではないかと思います。

参加されたお母さんたちからは、「子育ての不安について相談できる場ができてよかった」と言う感想もありました。「次回も来てくれますか」とたずねられましたが「交代で来ていますので次回は、別の委員が来ます」とお答えしましたところ「また相談に乗ってもらいたかったのに、残念です」とのことでした。

お母さん同士の交流の場ではあるものの、継続的に相談できる人が欲しいという気持ちを持っている方が多いようです。今後、継続的に相談を受けられるような、システムづくりが求められているのかもしれません。

白金台児童館

高輪地区　地挽　香

昨年の四月十七日から白金台児童館のプレイルームと遊戯室を使って始まった「たんぽぽクラブ」も、はや一年が過ぎました。

じゅうたんの敷いてあるプレイルームでは、お母さん方が車座になって、我が子の成長の様子や悩み事などを話し合い情報交換の場となっています。現代版の、お母さん方の井戸端会議室といったところでしょうか。また、隣にある遊戯室には、すべり台や三輪車などの遊具を、子供達が自由に遊べるように用意してあります。子供達同士、ボール遊びやお絵描きなどをしながら、楽しそうに遊んでいます。

「たんぽぽクラブ日誌」より

・おもちゃが充実している。

・家の中では、三輪車に乗ったり大きなボールを投げ合ったりする遊びは出来ないが、ここは広いので自由にできてよい。

・来た時には、笑わなかった子、人見知りした子なども帰る頃には楽しく接する事ができました。

・お母さん達の情報交換している姿が、見かけられるようになった。

・お母さんの顔が、帰る頃には、晴れ々しくなっているように思えた。

などが、書かれていました。

開設当初は、参加されたお母さん方から、「私達のお世話してくれている人達は、どこの人かしら」という雰囲気や、「民生・児童委員は、普段、どんなことをしているのですか」と聞かれることもありました。そこで、私達の日頃の職務や、今回、「たんぽぽクラブ」を始めたきっかけなどを説明し理解を求めることから始めました。この一年間は、私達にとっても、色々と戸惑うことが多くありました。

今回のたんぽぽクラブの活動を通して、民生・児童委員の職務や女性協議会の子育て支援活動、また、公的なところでも子育ての支援をしていることなどが伝えられたと思っております。

このごろ、街角や公園で小さな子供さんを連れた親子と出会うと、あいさつを交わしてくれるようになりました。これからも、このような関係が一人でも多くなって、私達が少しでも、子育てのお手伝いが出来ればと思っております。

青山児童館分室（赤坂学童クラブ）

赤坂地区　桑原　水枝

昨年、四月から女性協議会による「たんぽぽクラブ」が発足しました。このクラブができ、子供連れの親子に関心が向くようになりました。赤坂地区にもたくさんの親子がいらっしゃることに驚きました。青山児童館では「いちごタイム」を実施していますが、赤坂からでは遠くてとても参加できません。

そこで、青山児童館分室には、明るく、広い畳の部屋がありますので「たんぽぽクラブ」として利用させていただけないものかと、役所の方と共に児童館の館長さんにお願い致しました。早々、快いお返事をいただき実現の運びとなり、昨年九月から開設することになりました。たくさんの方々に来ていただくためには、PRの方法も考えなければなりません。幸いにも、保健所の保健婦さんからご連絡があり、「九月の『うさちゃんくらぶ』を青山児童館分室で開きますので『たんぽぽクラブ』の説明に来てください」と、お声をかけていただき、三十組のお母さんたちにお話させていただきました。

また、児童館の職員の方の御好意で、幼稚園、保健所等にパンフレットを置いて頂きました。私たちも、公園で遊んでいる親子の方にクチコミでPRしました。開設当初は、はたして来ていただけるものかと心配いたしましたが、急拵えの何もない所に二人のお母さんと三人のお子さんが来てくださいました。十月は、ミニすべり台と、二、三のおもちゃも入り、四組の親子が参加してくれました。うち、一組の親子は外国の方でした。皆さんとても喜んでくださり「来月も来ます」と帰って行かれました。

これを機にお母さんたちの交流の場となってほしいと願っております。